

■特集「雪氷圏の地すべり」の原稿募集

日本列島の北海道から東北・北陸地方にかけての日本海側では、冬季の大陸からの寒冷な北西風が日本海上の大量の水蒸気を含んで脊梁山脈に衝突し、大量の雪を降らせるため、世界的にも有数の多雪地域となっています。雪氷圏においては、地すべりの発生条件が非雪氷圏とは異なることが多く、地すべりの動態予測や効果的な対策を実施するには、様々な視点からの調査・解析が求められています。

雪氷圏の地すべり運動特性については、これまで数多くの研究が行われており、毎年同じ時期に周期的に変動を繰り返す地すべり事例が多く報告されています。雪氷圏の特に豪雪地域では、融雪期の地下水位の上昇が地すべりの主な発生要因ですが、最近では積雪荷重が地すべりの安定性や地下水変動特性に影響を与える要因として、また温度低下によるすべり面粘土の強度低下が雪氷圏の地すべり変動ポテンシャルを高める要因としてそれぞれ指摘されています。一方、積雪の少ない急斜面では地盤の凍結融解が崩落に関与するなど、雪氷圏の地すべり発生要因はより複雑かつ複合的なものと考えられます。このように、積雪層の物理的・力学的影響や融雪水の浸透プロセスには未解決な課題が残されたままです。そこで本学会では「雪氷圏の地すべり研究委員会」を立ち上げ、雪氷圏で生じる多様な地すべり事象の情報共有及び理解の深化を進めています。さらに、将来的な地球温暖化予測に対する雪氷環境の変化が、雪氷圏の地すべり変動に及ぼす影響を評価することも重要と考えます。

本特集では、雪氷圏特有の地すべり動態特性、積雪層の物理的・力学的性質、融雪水の浸透プロセス等に関する調査・研究事例、さらには雪氷圏での斜面変動や地盤環境観測における新技術の適用事例等、雪氷圏の地すべりに関する原稿を幅広く募集します。

○特集名：雪氷圏の地すべり

英文：Landslides in the cryosphere

○公募原稿のテーマ例

- ① 雪氷圏における地すべり観測の事例・新技術
- ② 積雪層の物理的・力学的性質に関する計測事例・新発見
- ③ 積雪層や地盤内の融雪水の浸透プロセスに関する計測事例・新発見
- ④ 低温環境下での地すべり粘土の物理的・力学的特性
- ⑤ 降積雪量の年変動・長期変動に対する地すべりの応答
- ⑥ 雪氷圏の地すべり対策工に関する新技術・課題
- ⑦ 寒候期の地すべり災害調査事例

○募集原稿：論文，研究ノート，技術報告，総説

○発刊予定：第 59 巻 2 号（2022 年 3 月末頃発行）

○投稿申込み：2021 年 4 月 15 日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

- ・申込みアドレス：post@landslide-soc.org
- ・メールの題名：特集号原稿申込（著者名）を記入

- ・申込み項目：題名，著者名，所属，連絡先住所，電話，メールアドレス，原稿種別，要旨（200字程度，添付ファイルとせず，本文に入れてください）

○ 原稿執筆

- ・執筆要項：学会誌第 58 巻 1 号または学会ホームページ掲載の執筆要領
- ・原稿締切：2021 年 7 月 31 日
- ・原稿送付先：post@landslide-soc.org

なお，投稿いただいた原稿は通常号の原稿と同様に査読を行います。したがって，内容によっては通常号への掲載をお願いし，または掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。